

千草会

題字 原あやめ

山脇展と千草会のこと

千草会会長
学院長 細田直孝

名誉会長原あやめ先生は高齢のため、最近
は、なかなかお出でいただけませんが、時折り
「学院に行ってみよう」と言われているようで
天候や体調が許すならば、ぜひ山脇展にお誘い
するつもりでおります。

昨年の山脇展では思いがけないめぐり合いに
恵まれました。それは、ずいぶん昔の卒業生が
二人学院を訪ねてきてくれたことです。四十五
年前にわたしの服飾フランス語の授業に出席し
ていた生徒さんでした。その翌年わたしはフラ
ンスへ留学して、それ以来この授業のことはほ
んど忘れていました。ところが、卒業生の顔
を見た瞬間に、昔の教室の光景とともに彼女た
ちの記憶もはつきり甦ってきました。ピロティ
建ての、中庭の芝生を見下ろす二階の教室で、
フランスのモード雑誌やスタイル画を手にしな
がら授業をすすめていたことが懐かしく思い出
されました。卒業生の一人は、その後も近くの
日仏学院でフランス語の勉強を続けていたとの
ことです。もう一人は、有名な美術骨董店の女
主人として、苦勞しながらも元気に活躍してい

るとの話でした。

記憶と時間の関係は不思議なもので、まだ数
年前のことでも完全に忘却して、いわば自分の
人生から消滅してしまったものもあれば、逆に
はるかな幼年時代の思い出が不意に鮮明に浮か
び上がって、自分の過去を確かなものとして味
わわせてくれることがあります。山脇展の卒業
生の来訪は、わたしの青春時代の断片の一つを
きらりと輝かせてくれました。

今年の在校生もすでに、九月末の山脇展を目
指して展示プランと作品制作にとりかかってい
ます。千草会としては、この機会に最近の卒業
生のみならず、昔の卒業生や旧講師の先生方に
も学院に足を運んでいただき、山脇展を懇親の
場としても大いに活用していただきたいと願っ
ております。

昨年の千草会は若返りをはかって役員、委員
の大幅な交代が行われ、新メンバーによる四月
の委員会では、今後の千草会について、また同
窓会のパーティの具体化なども検討されました。
学院のホームページには「千草会」のページ
が組み込まれ、学院のブログも立ち上がり、こ
れからは、卒業生の皆さんのさまざまな情報を
共有することによって、千草会のまとまりと活
動をいっそう推しすすめていきたいと考えてお
ります。

■目次

- 山脇展と千草会のこと…………… 1頁
- GOOD MIXに魅せられて
山脇ギャラリー展示スケジュール………… 2頁
- 千草会よりご案内/千草会だより
千草会賞…………… 3頁
- 卒業生だより…………… 4頁
- 卒業生ニュース…………… 5頁
- 在校生の作品介绍/研修旅行………… 6・7頁
- オフィスから・アトリエから………… 8頁
- 学務課より・入学案内・就職/千草会費………… 9頁
- 山脇展のお知らせ/専門学校美術展
講師・職員移動報告…………… 10頁



19

年号

グッドミックス GOOD MIXの魅力



ビジュアルデザイン科
旧リビンングアート科
元講師

清水 要

茫洋の世界をテーマに8回目の個展を山脇ギヤラリーで、2006年11月に10日間、山脇美術専門学院と千草会の協力によって開催し、31年間奉職した締めくくりとしました。会期中、姉齒先生の発案で同窓会が企画され、若さあふれるエネルギーを持って来て下さった卒業生、在学生、協力して頂いた先生方に感謝します。

今回の作品は、コンピュータによって画面全体のバランスを調べたのが特徴です。この年齢になるまでコンピュータを操作する事は出来なかつたと思ひ込んでいました。しかし、社会の基盤となつてくるコンピュータを使わずにこの世を去るのは悔しいと思ふ様になり展覧会の期日が決定した、その時コンピュータを購入しました。

私の作品表現は、最終的に「版」で表現するのが基本になっています。制作過程では、さまざまな素材、道具、技法を用いています。素材は、紙、金属、プラスチック、絵の具、木、等。道具は、鉛筆、筆、写真機、コピー機、コンピュータ。技法は、コラージュ、版、手作業、等、多岐にわたっています。これ等の材料、道

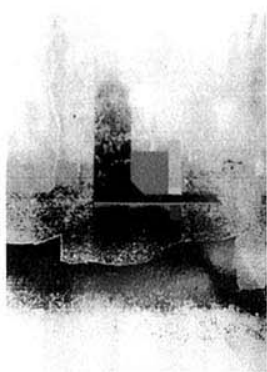
具のそれぞれの特徴、良さを生かしながらバランス良く調べ、一つの画面に纏めます。完成された原稿は「版」によって表現します。「版」には凸版、凹版、平版、孔版、コピー、インクジェットによる出力、等があります。「版」で表現すると言ふ事は手で描く直接に對して間接的です。そこには魔物が住んでいて人間の感性ではどうしようもない、いろいろな事態が発生し、良いにつけ、悪いにつけ偶然性を楽しむ事が出来ます。

私は、この手法をグッドミックスと名づけています。「GOOD MIX」。

グッドミックスとは、それぞれの価値を認め共存する事です。そこから新風土、新素材が生まれ美しいバランスのとれた新しい価値が創造されます。それが出来るのは「人間の感性の質」です。

私は、現代だから出来る表現「グッドミックス」を探求します。

古都のイメージを総合的に表そうとすると日本で代表される古都と言え、奈良見えない世界だから抽象になる今に残る時間を経た物から古代を偲ぶうつつろう空気に浸って下さい



「古 都」

現在、山脇美術専門学院の玄関に展示

山脇ギヤラリー展示スケジュール

学院・千草会関係

5月18日～5月22日「May QUEENS」(千草会)

山本春香 V D科平成16年卒業

奥谷桃妹子 J D科平成16年卒業

7月30日～8月28日「学生作品展」(学院)

9月29日～9月30日「山脇展」(学院)

11月2日～11月13日「インテリア学会」

平成20年

2月16日～2月17日「卒業進級制作展」(学院)

3月14日～3月25日「V D科卒業 グループ展」(千草会)

平成16年卒業

中央新宿アートマップというギヤラリーを紹介するパンフレットに山脇ギヤラリーが掲載されました。このアートマップは、銀座や六本木・青山など文化芸術の地域が形成されているように、大小を含め30を越えるギヤラリーが存在している中央新宿というアートエリアも内外から認知され確立することを目的としています。これを機に山脇ギヤラリーも広く一般の鑑賞者に浸透し、地域の発展に貢献できればと考えています。

JD科では、来年の15周年記念作品展に向けて着々と準備が進んでいるようです。また、スペースや使用料などの利点から、特に若い会員の方からギヤラリーの利用が増えていきます。今後ぜひご活用下さい。

山脇ギヤラリー委員 篠原 一郎

ジュエリーデザイン科

15周年記念展のご案内

会期 平成20年 5月19日(月)～5月31日(土)
山脇ギャラリーに於いて

ジュウリーアート科(現ジュエリーデザイン科)設立15周年を迎えます。それに伴い、これまでの卒業生の学院での制作品と、卒業生と在校生の新しい作品を中心に、山脇ギャラリーで記念展を開催いたします。

現在、各方面で活躍している卒業生たちの、原点ともなる学院生活から生まれた作品は、それぞれの作品が、素材や宝石の輝きに魅せられて、華やかに、シンプルに、と、まとめられ、その作品には、豊かな個性も感じて頂けることと思います。多くの会員の皆様、ご父兄の方々に、是非、ご覧いただきたいと企画いたしました。お誘い合せてお出かけ下さいませ。

記 日和佐 絵夢

山脇美術専門学院 創立80周年

平成21年に創立80周年を迎えます。この年を記念して、現旧コース合同の同窓会パーティを開催し、より親睦を深めて頂くため、互いを知る機会として、同時に山脇ギャラリーにおいて作品展を予定しております。

現コースJD科をはじめ各科10年余になり、現旧コースの顔合せのよい機会になることを願っております。
詳しくは次月号で

千草会だより

副会長 佐藤紀子

今年も千草会報発行の季節となりました。会員の皆様にはお変わりなくお元気にお過ごしのことと存じます。

山脇美術専門学院も再来年には創立80周年をむかえます。これまでにたくさん卒業生を送り出してきた歴史ある山脇の同窓会である千草会は、学院での大きな役割を持つ大切な会です。今年四月には新しい委員による委員会が開かれ、現美術コース卒の会員の方々にも参加していただくことになりました。委員会では、同窓会開催についてや、これからの千草会の有り方について等、積極的な意見の交換が行なわれました。

長い年月と共に様々な社会変化に対応した山脇美術専門学院が、新旧の和を深め、あたたかい山脇らしい同窓会となるよう、私共も努力してまいりたいと思っております。

五月末より学院のホームページに千草会のコーナーも加わり、今までの会報と共に、よりいっそう身近な山脇の情報交換の手段として、会員の皆様方に親しんでいただけることを心より願っております。

最後になりましたが、昨年十月、前会長をはじめ委員の皆様は、後進に席を譲られるために退任されました。これまで長い間、千草会の為にご尽力をいただきましたありがとうございます。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。今後ともご指導ご協力いただきま

千草会役員 委員

名誉会長

原あやめ先生

会長

学院長 細田直孝先生

副会長

佐藤紀子(旧姓 足立)

委員

旧リビングコース 直野晶子(旧姓 河原)

現美術コース

後藤晴美(旧姓 尾崎)

山口郁子(旧姓 山田)

本村貴子(旧姓 清水)

学内委員

小林健介

福澤清子(旧姓 河野)

乙坂延輔

海老澤有紀

任 梨沙

篠原一郎

桐井英明

濱澤清子(旧姓 河野)

羽成まどか

任 梨沙

篠原一郎

桐井英明

福澤清子(旧姓 河野)

濱澤清子(旧姓 河野)

羽成まどか

任 梨沙

篠原一郎

桐井英明

濱澤清子(旧姓 河野)

濱澤清子(旧姓 河野)

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

助手

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

LA科卒

●千草会賞

平成18年度千草会賞を受賞された方々です。名誉会長原あやめ先生より、褒賞状と記念品が授与されました。

VD科 沼田美代
「メキシコホテルズ」
「HUNBERT WASSER」
「CALDER」

ID科 乙坂延輔
「ARCHITECTURE NOW」
「アパートメント アバンギャルド」

JA科 小林 宙
「GEMSTONES」
「QUALITY AND VALUE」

●デジタルデザイン科卒の会員の皆様へ
DD科は平成17年度よりVD科に統合されましたので、VD科の方々と共にご協力をお願いいたします。

「住まいと家族」



リビングアート科
昭和46年卒
リビングアート科
副主任

後藤晴美
(旧姓尾崎)

原稿のお話を頂きました時、学生時代が走馬燈のように巡り、楽しかった日々をなつかしく思い出しております。

私は色彩やデザインを学びたく、インテリアデザイン、グラフィックデザインなど、生活環境にかかわるデザインをトータルに学べるリビングアート科に入学し、そこでインテリアデザインに興味を持ったことが、きっかけとなり、現在、住宅メーカーのインテリアコーディネーターとして仕事をしております。

設計された住宅のコーディネートについては、それぞれの年代や家族構成、生活スタイルも違うため、施主の方々と内装の仕上げや、照明、カーテン、家具類にいたるまで、細い打ち合せをしていきます。

扱う素材を、どう組み合わせるか、新素材をどう扱うか、等々、住居となると、単に格好よく見映えの良さだけではなく、手入れや扱いについても考え、充分話し合い、納得が得られるように努めております。なかなか手に入り難かった商品の情報も、今ではインターネットで簡単

にわかるようになり、素材選びは幅広く、楽しみな面と、また難しさも感じます。(時には逆に施主側の情報の方が早く、ちよつと、とまどうこともありますが……)

コーディネートした新居にお招きを受け、伺った時、楽しそうに案内され、納まり具合や、使い方など、ご家族のエピソードも交えながら話されますと、こちらも大変嬉しいものです。

新しい住まいでの生活がはじまるということ、新しい住まいでの最後の一筆、といった感じでしょうか。それは家に息が吹き込まれ、住まいと家族の一体感のようなものが生まれ、コーディネイトの仕上がりとは違った感じを、いつも受けております。

今、新しいものが次々と出てくる中、大きな鞆を肩に掛け、ショールームや現場へと、元気に駆け回っております。

「経験を自信に」



インテリアデザイン科
平成15年度卒
高木菜津美

山脇で過ごした2年間は、とても楽しくて少しだけ大変で、本当にあつという間でした。出合ったクラスメイトや先生は、今でもとても大切な存在です。学んだ数々のことは、今まさに、私の糧となっています。

現在、私は店舗デザイン会社でアシスタント

デザイナーとして、日々勉強、という気持ちで大切に働いています。まさか自分が店舗の仕事に就くとは夢にも思っていませんでした。2年経ち、店舗ならではのスピード勝負の作業もこなせるようになり、毎日が充実しています。

会社の主な業務内容はカフェなどの飲食店を中心とした店舗デザイン、グラフィックデザイン、パッケージデザイン等を行っています。その中で私の仕事は図面を描くこと、もちろんパースも描きますし、簡単なグラフィック等のデザインもします。

今、私は図面をしっかり理解して、描けるようになりたいと思っております。もともと図面を描くことは苦手で、これまで手を動かすことで精一杯、あまり理解できないまま、仕事をしてしまい、いつも上司に「考えて描くこと」と注意され、毎回注意されたお陰で、少しずつ理解しながら描くことができるようになってきました。

オシャレなデザインを考えたり、斬新なアイデアを生み出したことも、とても魅力的ですが、私は、これからもずっとインテリア、建築に関わる仕事をしていきたいので、今は、色々な知識や技術を吸収し、成長していきたいと思っております。

就職活動中の方で、自分のやりたいことがわからない、自分には無理かなと思われることもあると思いますが、あまり選り好みせず、何事も経験、と思つてやってみるのもよいと思います。その一歩が二歩目の選択肢を大きく広げることになると思います。頑張つて下さい。



会場風景

■2006年 5月「casimir」

山脇ギャラリー

王 徴思 ビジュアルデザイン科 平成18年

山脇ギャラリーで、2回目の2人展「casimir」を開催。社会人になり、生活の大半は仕事、作品について考える時間は学生時代よりもずっと減りましたが、ほぼ毎日、作品を作っていました。

1回目の2人展では取りあえず展示会場を埋める事で必死でしたが、今回は大きい作品の展示で、と考え、実際に展示してみると自分の描いていたイメージとのギャップに驚きました。予想外に上手く見えたり、また、もっと綿密な計画をしておけば良かった、など反省もありました。dots and waterfowlではライトの数、光のあて方で出来る影、空調の微妙な風による、作品の見え方、とらえ方が変わり、空間の中に作ったモノを入れることで、作品の印象が変わるといふ。この事は作品を発表する者としては基本的な事かもしれませんが、今回私はこうして実際に展示をしてみて、身を持って知ることが出来ました。今後は空間と作品という事も意識して創作を続けて行きたいと思っています。

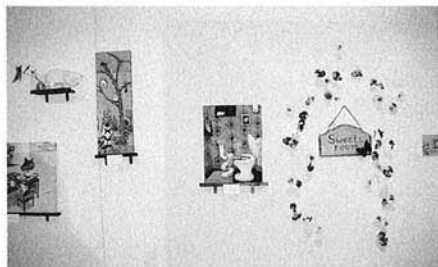


コルクと紙粘土で作ったモビール

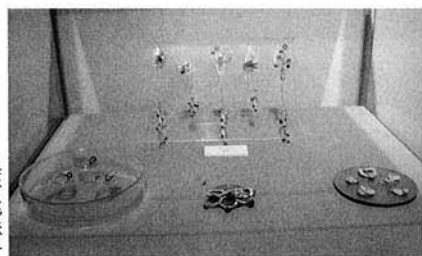
■2007年 5月「MAY QUEENS」山脇ギャラリー
山本春香 ビジュアルデザイン科 平成16年卒

5月のお姫様達と銘打って、8人の女性作家が作品を発表するという設定のグループ展「MAY QUEENS」を開催しました。みなクオリティが高く、素敵な作品を作る人達です。奥谷桃妹子(ジュウリーアート科平成16年卒)の作品は植物が成長する過程を部分的に切り取り、シルバーアクセサリーで表現しました。私は自分の家に、様々な生き物が住み着いてしまう様子をアクリル絵の具で、カラフルに、かわいく、楽しさを描きました。

展示会ではいろいろな方々の意見を聴く事ができて勉強になりました。また、制作する喜びも改めて感じ、制作仲間の輪の力の大きさを知り、グループ展が実現できて、本当に良かったと思います。これからも、この輪を大切に、精力的に活動をして行きたいと思っています。



山本春香



奥谷桃妹子

■2007年 2月 第36回 専門学校美術展 ポスター・DMデザイン

東京都美術館

佐々木淳 ビジュアルデザイン科 平成19年卒



東京都美術館において開催された「専門学校美術展」のポスター・DMデザインを担当してデザインをまとめるまでの大変さ、仕上がった時のうれしかった事など感じた事が沢山ありました。一番気をつけた部分は色です。あたたかいイメージをグラデーションで表わしたかったので、グリッドの1つ1つを小さくして鮮やかな色にしました。コンセプトは、学生はアーティスト、デザイナーの卵と考え表現し、大きな四角形はイメージを形にして欲しいという意味合いを込めました。実際に完成して人の手に渡った時は達成感があり、改めてグラフィックデザイナーとして働きたいと思いました。

※「専門学校美術展」のポスター・DMのデザインは参加校が順番に担当します。

←ジュエリーデザイン科

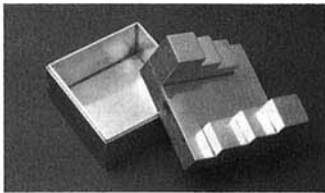
- 1.唐草ペンダントトップ
イヤリング・ピアス
(銀)
- 2.リング(銀、石)
- 3.スプーン(銀、樹脂)
- 4.箱(銀)
- 5.ペンダントトップ
(七宝)



1



2



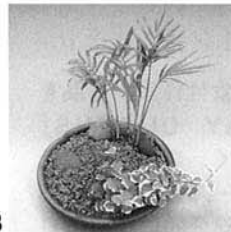
4

インテリアデザイン科→

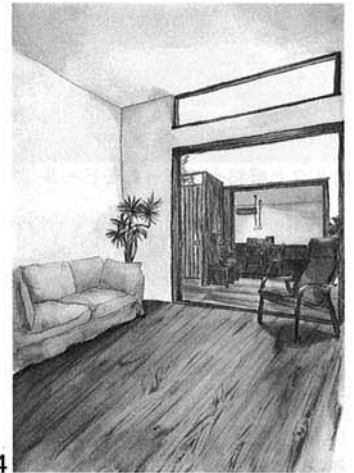
- 1.家具デザイン
「桐の椅子」
- 2.建築計画・環境「私の家」
- 3.グリーンインテリア
「寄せ植え」
- 4.建築パース
「室内パース」



5



3



4

平成19年5月17日・18日

研修旅行



アンティークミュージアムにて

国際避暑地の外交の場であった、イタリア大使館別荘を見学し、その時代の写真を見たり、日光金谷ホテルを見学しました。宿泊先のホテル四季彩では実測実習を行いました。

インテリアデザイン科
イタリア大使館別荘、金谷ホテル見学

ホテル四季彩で実測



陶芸体験を終えて



金谷ホテル見学



イタリア大使館別荘見学



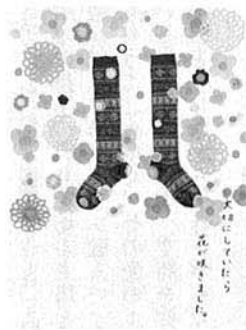
在校生の作品紹介



1

←ビジュアルデザイン科

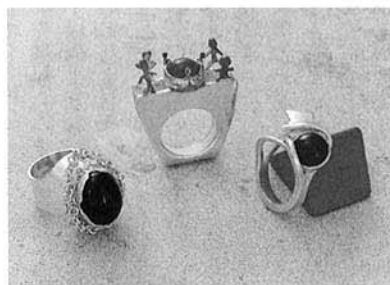
- 1.「広告デザイン」
- 2.「新聞広告」
- 3.「想定デッサン」
- 4.「造形素材演習」素材の特徴をつかんで応用



2



1



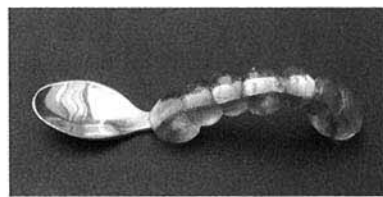
2



3



4



3

研修旅行

一泊研修旅行 各科別に

ビジュアルデザイン科 黄金崎クリスタルパーク、陶芸体験

ジュエリーデザイン科 湯河原・伊豆高原、 陶芸ろくろ体験



ガラスミュージアム 万華鏡の部屋で

黄金崎クリスタルパークではガラスにデザインを施し、遊YOU天城では素材にふれ、陶芸体験をしました。遊覧船でスリルと絶景に感動。

洞くつめぐり遊覧船



ろくろ体験

アンティークミュージアムの見学や万葉窯での陶芸ろくろ体験、公園の散策等、充実した楽しい旅行となりました。



サンドブラスト体験

陶芸体験



GMO
インターネット(株)

ある時、先輩から「まずは何でも挑戦してみる。デザイナーは何よりも引き出しが大事」と言われ時には辞めてしまおうか…と考えていた自分を恥しく思いました。その後モバイルの仕事に興味を持ち、印刷業界からモバイル業界へ転職、FLA SHの仕事をし、その技術を高めるためにWEBデザイナーに進路を変更、今ではWEBデザイン、チラシを作り、営業や取材、カメラアシスタントもやり…と今出来る新しい事にはほとんどん挑戦。様々な体験がいつか、血となり肉となると思っています。日々精進あるのみです。

WEBデザイナー

永島 彩

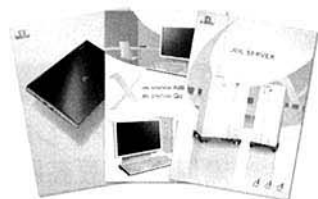


店舗施工会社

卒業後2年間のデザインアシスタントを経て、内装施工管理の道を選び、現場に出ることにしました。図面を描き、空間を作るということを学ぶために。各メディアに取り上げられるようなビルインの仕事も副管理者として携わることができ、そこから学ぶ多くの事は机上では学ぶことができないことです。現場に出てようやく、この仕事の立場・役割が分ってきたような気がします。
建築調整及び内装管理室との打ち合せ、(クレームによる深夜3時からの搬入定例は多くて1日に1回あることもあります)。現場での指示、取り仕切る立場とはいえ相手はその道20年以上のベテラン職人です。私の方が教えてもらうことも多く、その先の工程を理解してないと出来ない事です。空間を作る事の大変さ、責任感を感じながら、日々学んでいます。

副管理者

齋藤成晃



(株)ジェイアイ

山脇を卒業してすでに1年半。入学した当時はデザイナーという職業について理解できていませんでしたが、学んでいるうちに、私にもデザインの可能性のようなものを感じ、卒業後は、雑誌やカタログ、DMなどを制作している会社に就職しました。現在、アートディレクターの下で奮闘の毎日です。
実際の仕事は、地味で細くって、色々な制約があつて…「うー結構大変！」でも、そのハードルをクリアしていく過程がおもしろみでもあり自分が作ったものが、世に出た時の喜びはひとしおです。山脇で、デザインに関して幅広い基礎知識から、平面や立体的なもの応用など、沢山のことを学んだことが、今、実務に役立っていて、忙しい日々の中でも頑張れるのは、それが根底にあるからだと感じています。

デザイナー

川島麻衣



(株)ダイアート三枝

私の就職した(株)ダイアート三枝では、金・プラチナを主体とする各種金属製品、その他宝飾関連商品、各種鑄造品などを製造販売しています。
そのうちの私の仕事は、吹き上げりのリングの磨き、石目・刻印打ち、最終仕上げをし、メッキをかけることです。毎日、納期に追われ、時間に追われ、1日があつという間に過ぎて行きます。
入社して3ヶ月が過ぎましたが、やっと今、少し会社の雰囲気にも慣れて、いろいろな事が見えてきました。
まだまだ、はじまったばかり、覚えることばかり。毎日が勉強です。これから、どんな事にも素直な気持ちを持ってあたり、たくさんのお仕事を吸収していきたい、自分の得意とした手法やデザインを見つけていこうと思っています。

製造部

前田美久

平成19年度の体験入学・説明会の日程をご案内します。今年度の体験入学は、全部で17のコースを用意しています。各科の講師によって、実際の授業と同じ机・道具・パソコンを使い身近な作品を制作し、将来の職業をイメージしてもらい、山脇の魅力を感じ取ってもらう内容となっています。

各コース/日程等は、学校のホームページに掲載されていますのでご覧下さい。又、お知り合いの方でデザインに興味のある方がいらっしゃいましたら、ご紹介下さい。

お問い合わせ・お申し込み先 TEL03-3264-4020 (学務課)

体験入学	学校説明会	イブニング説明会
第1回 6月17日(日)	第1回 5月20日(日)	第1回 8月24日(木)
第2回 7月25日(水)	第2回 6月16日(土)	第2回 10月26日(金)
第3回 7月26日(木)	第3回 7月14日(土)	第3回 11月9日(金)
第4回 8月5日(日)	第4回 8月2日(木)	※要予約
第5回 8月6日(月)	第5回 8月22日(水)	
第6回 8月15日(水)	第6回 9月15日(土)	
第7回 8月16日(木)	第7回 10月21日(日)	
第8回 9月9日(日)	第8回 11月10日(土)	
第9回 10月14日(日)	第9回 12月20日(土)	
※要予約	平成20年 第10回 1月19日(土)	
	※要予約	
実施時間 11:30~15:30 (受付11:00)	実施時間(1日2回) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00	受付時間 18:00~19:30 (受付17:30)

学校見学 月曜日~土曜日(休祝日除く毎日)

受付時間 月~金 9:30~16:00 土 9:30~14:00 ※事前連絡不要

今年も昨年以上のペースで求人が寄せられています。デザイン業界でも、新卒採用が回復してきたように思います。しかしながら、新卒者に求められる能力は、年々高まる一方です。

昨今では、社会における仕事の意義の変化や、雇用形態、職業の多様化が進み、学生も様々な不安や悩みを抱えております。しかし、仕事を通して得られる、労働の楽しみや、社会参加の素晴らしさに期待し、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先(平成19年3月卒業生)

(株)フジシール、大和サービス(株)、(有)電影工房、(株)ポバル、(株)インクポイント、(株)ワンズブレイン、(株)TCA、ノーチエグラフィコデザイン事務所、(株)グッドクロス、(株)タケベ、(株)ビービー、(有)ディーツー、(株)アンリミテッド、(株)ギヤルド・ユウ・エス・ビー、(株)ビジョン、(株)ムラオ、(株)ジオノ、(有)ソラ、エステール(株)、(株)堀溝商店、(株)ダイヤモンド三枝、(株)ケイ・ウノ、(有)エニマ

追伸 千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。

(学務課就職係 森田 03・3264・4020)

ホームページのご案内

お知らせ

学校のホームページをリニューアルしました。今回、千草会専用ボタンも設けました。過去の千草会報も見ることが出来ます。又、平成十九年春に第10号を発行した【山脇通信】も閲覧できます。現在の学生生活・作品をご覧下さい。

リンクのコーナーも設けましたので、卒業生の方の個人のHP・ブログや勤務先のHP・ブログも受付OKです。左記アドレスまでメールを下さい。

<http://yamawaki.ac.jp/>
gakumun@yamawaki.ac.jp

千草会費

●千草会費の会計報告

入学時に納めて頂きました千草会(同窓会)の終身会費について、誌上で会計報告をいたします。

平成18年度 千草会費 収支

支出	収入
千草会報 発行費.....830,913	千草会費 1,770,000
行事費 同窓会 他..... 0	利子 + 3,414
千草会賞..... 44,945	計 1,773,414
千草会員 展示 お祝い... 46,050	平成18年度収入
通信費..... 91,315	収支
委員会運営費.....177,631	収入 1,773,414
義援金..... 0	支出 - 1,190,854
計 1,190,854	計 582,560
	今年度の千草会費の残金

今年度の残金は次年度に同窓会費として繰り越します。

山脇展のお知らせ

山脇展 9月29日(土)～30日(日) 10時より

今年も山脇ギャラリー、教室にて、学生の作品展示、各科の様々なイベントを予定しております。皆様お誘い合わせの上、お越し下さい。

学内委員 任 梨沙



ID科 玄関装飾
「足跡」



ID科 カフェ
「ザ・ブロッコリ」



VD科 オリジナル雑貨販売
壁面に絵の展示



VD科 オリジナルデザイン
Tシャツ販売



JD科 ジュエリー制作体験
「刻印リング」



JD科 ジュエリーショー
「雪・闇・和・太陽・ハート」

●卒業進級制作展 平成20年2月17日(土)～18日(日)

第36回 専門学校美術展

平成19年2月20日(火)～26日(月)

この展示は、美術・デザイン・工芸などの分野から都内12校の専門学校が集い、学生達の様様な作品が展示されます。

本学院は、2年間の集大成である卒業制作を中心に、進級制作や課題制作を展示しました。VD科やID科の中では、大作やスケールの大きい作品などが一際目を惹いたのではないのでしょうか。また、展示ケース内には、ID科のネックレスやリングなどが華やかに展示され、来場者が一つひとつを丁寧に観ている姿が印象的でした。今回は、今まで以上に完成度の高い、優秀な作品が多かったとの声を聞くことができました。今年度は、展示スペースが拡大されるのでさらに充実した展示が期待できそうです。是非、会場へ足をお運び下さい。

学内委員 篠原一郎

●専門学校美術展 平成20年2月ほぼ同日程の予定



専門学校美術展会場風景



講師・職員移動報告

●退職された先生

ビジュアルデザイン科

倉嶋正彦先生 デザイン概論

藤原信幸先生 デザイン概論

横森京樹先生 助手

ジュエリーデザイン科

中村 緑先生 集中講義

長い間ご指導ありがとうございました。

●就任された先生

ビジュアルデザイン科・インテリアデザイン科

神山美奈子先生 (基礎デッサン・基礎製図他)

神山先生は専任を退かれ、今年度より講師に就任されました。

ビジュアルデザイン科

羽成まどか先生 助手

ここところ各地の大きな災害の報に皆様のお変わりのないことを願っております。

●学院へのアクセス

都営地下鉄(新宿線)

各線 市ヶ谷駅 下車

地下から学院へは「A2」出口が便利です。

発行 山脇美術専門学校同窓会

〒102・0074

東京都千代田区九段南4・8・21

電話 03・3264・4020